



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社ファミリー 上場取引所 東
 コード番号 8298 URL <http://www.cardealerfamily.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西條 徳三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 清水 貴志 TEL 043-284-1111
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,276	△8.5	190	△9.4	193	△7.2	127	△11.1
29年3月期第1四半期	3,581	10.3	209	10.1	208	11.3	143	15.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	22.77	—
29年3月期第1四半期	25.62	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	11,641	5,729	49.2	1,022.31
29年3月期	11,697	5,648	48.3	1,007.86

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,729百万円 29年3月期 5,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	0.8	700	0.5	700	0.8	400	1.2	71.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	6,529,114株	29年3月期	6,529,114株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	924,857株	29年3月期	924,857株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	5,604,257株	29年3月期1Q	5,604,257株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復に一部遅れが見られるものの、全体では雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、米国トランプ政権の政権運営への不透明感や英国のEU離脱に伴う混乱、東アジアでは北朝鮮が大きな不安材料になるなど国際政治、経済環境は不透明感を増し、引き続き不安定な状況が続いております。

国内の第1四半期累計期間の新車販売は、前年同期比11.8%増の1,204千台となりました。特に軽自動車が前年同期比21.0%増の427千台と大きく伸びましたが、これは、昨年に燃費不正問題の影響で販売が落ち込んだため、その反動で大幅な増加となったことが要因と思われます。

外国メーカーの第1四半期累計期間の新車販売は、前年同期比2.6%増の70千台と前年並みとなりました。このような状況下、当社では欧米11ブランドを取り扱うことができるメリットを最大限発揮し、お客様に最適なお車を提供できるように努めるとともに、不動産事業、発電事業による多角化経営により、安定的な収益確保に取り組んでまいりました結果、当社の当第1四半期累計期間の業績は、売上高32億76百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益1億90百万円(前年同期比9.4%減)、経常利益1億93百万円(前年同期比7.2%減)、四半期純利益は1億27百万円(前年同期比11.1%減)となりました。

事業のセグメント別の状況は下記のとおりです。

(車両販売関連事業)

車両販売関連事業におきましては、当社で取り扱う輸入自動車の販売が振るわなかった結果、売上高は、32億12百万円(前年同期比8.6%減)、セグメント利益は1億47百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、本社階上、西船橋店階上、市川店の賃貸マンションにおいて、入居率の維持・向上に努め、さらに成田赤坂の賃貸マンションも100%の入居率により安定的な賃貸収入が計上できました。この結果、売上高は34百万円(前年同期比54.2%増)、セグメント利益は22百万円(前年同期比57.9%増)となりました。

(発電事業)

発電事業におきましては、昨年10月に館山太陽光発電所を株式会社ファミリー商事に事業譲渡したことから、売上高は29百万円(前年同期比32.9%減)、セグメント利益は19百万円(前年同期比22.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ55百万円減少し116億41百万円となりました。これは主に、商品が92百万円増加した一方で、現金及び預金が55百万円、売掛金が43百万円及び有形固定資産が52百万円減少したことが主な要因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ1億36百万円減少し59億12百万円となりました。これは主に、前受金が54百万円増加した一方で、買掛金が1億19百万円及び借入金が返済により減少したためであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ80百万円増加し57億29百万円となりました。これは、四半期純利益の計上、配当金の支払が主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月11日付にて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績見通しにつきましては、様々な予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	610,010	554,087
売掛金	472,168	428,644
商品	2,255,196	2,347,713
部品及び用品	81,185	101,249
販売用不動産	13,077	13,077
繰延税金資産	80,243	50,485
未収還付法人税等	130,281	130,691
その他	243,779	252,461
流動資産合計	3,885,943	3,878,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,038,305	2,015,491
機械装置及び運搬具 (純額)	339,083	330,372
土地	3,968,815	3,386,252
賃貸不動産 (純額)	675,931	1,252,047
建設仮勘定	344,980	345,065
その他 (純額)	113,878	99,246
有形固定資産合計	7,480,993	7,428,476
無形固定資産	20,179	19,661
投資その他の資産		
投資有価証券	84,490	90,232
長期貸付金	36,957	35,694
差入保証金	83,478	83,482
その他	105,166	105,394
投資その他の資産合計	310,092	314,805
固定資産合計	7,811,265	7,762,942
資産合計	11,697,208	11,641,353

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	756,458	637,074
短期借入金	2,632,818	2,592,819
未払法人税等	-	34,085
賞与引当金	11,940	17,100
その他	467,629	573,597
流動負債合計	3,868,846	3,854,676
固定負債		
長期借入金	1,911,597	1,773,397
役員退職慰労引当金	40,542	41,259
資産除去債務	8,394	8,420
繰延税金負債	60,691	63,621
その他	158,816	170,666
固定負債合計	2,180,042	2,057,365
負債合計	6,048,888	5,912,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,297	1,387,297
資本剰余金	815,014	815,014
利益剰余金	3,628,304	3,705,448
自己株式	△200,842	△200,842
株主資本合計	5,629,773	5,706,918
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,545	22,393
評価・換算差額等合計	18,545	22,393
純資産合計	5,648,319	5,729,311
負債純資産合計	11,697,208	11,641,353

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	3,581,744	3,276,605
売上原価	3,011,062	2,736,535
売上総利益	570,682	540,070
販売費及び一般管理費	360,976	350,051
営業利益	209,705	190,018
営業外収益		
受取利息	244	218
受取配当金	858	883
受取保険金	783	5,579
その他	1,331	1,145
営業外収益合計	3,217	7,826
営業外費用		
支払利息	4,038	3,944
営業外費用合計	4,038	3,944
経常利益	208,884	193,900
特別損失		
固定資産除却損	—	7,650
特別損失合計	—	7,650
税引前四半期純利益	208,884	186,250
法人税、住民税及び事業税	70,098	27,873
法人税等調整額	△4,789	30,793
法人税等合計	65,308	58,667
四半期純利益	143,575	127,582

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。